

6月29日から的大雨に関する被害状況等について（第19報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 気象状況 気象庁発表（7/11 11:00 時点）

- 7月7日から10日にかけては、梅雨前線が西日本から東北地方付近に停滞し活動が活発となった。
- 九州北部地方や中国地方を中心に大雨となったほか、島根県、福岡県、佐賀県、大分県で線状降水帯が発生し、気象庁は10日に福岡県と大分県を対象に大雨特別警報を発表した。
- 総降水量は、九州北部地方で600ミリを超え、九州北部地方や中国地方では平年の7月の月降水量を超えた地点があった。
- 11日以降は前線の活動は弱まるが、13日頃にかけて暖かく湿った空気の流れ込みが続いて、大気の状態が非常に不安定となるため、西日本から北日本では、局地的な大雨になる所がある。今後の気象情報に注意。

2 体制等

- 非常体制：本省、九州地整、気象庁、国総研
- 警戒体制：中国地整、九州運輸、国土地理院
- 注意体制：中国運輸

3 一般被害情報（消防庁 HP 7/11 05:00 時点）

- 人的被害
 - ・死者 4 人（山口 1、福岡 2、佐賀 1）
 - ・行方不明者 6 人（島根 1、山口 1、佐賀 2、大分 2）
 - 住家被害
 - ・全壊 10 棟（愛媛 3、福岡 3、佐賀 3、大分 1）
 - ・半壊 40 棟（愛媛 37、福岡 2、長崎 1）
 - ・床上浸水 404 棟（福島 1、岐阜県 1、島根県 8、山口 383、福岡 2、熊本県 8、鹿児島 1）
 - ・床下浸水 800 棟（福島 2、新潟 1、石川 5、長野 2、岐阜県 2、島根 36、広島 6、山口 706、愛媛 2、福岡 15、熊本 23）
- ※その他、消防本部等によると、福岡県久留米市竹野地区一帯において、土砂崩れに 22 名が巻き込まれる事案が発生（全員救出済み（心肺停止1人を含む））との情報あり

4 被害情報等

(1) 河川（7/11 11:30 時点）

26 水系 43 河川にて氾濫。

○国管理河川（5 水系 8 河川）

- ・7月10日未明から的大雨により、4 水系 7 河川（筑後川水系小石原川、城原川、巨瀬川、花月川、松浦川水系徳須恵川、山国川水系山国川、遠

賀川水系彦山川)で氾濫が発生(詳細確認中)。

- ・7月9日以前の大雨により、佐波川水系佐波川の霞堤部にて農地浸水あり(概ね解消)。
- ・その他の河川の被害については内水被害を含めて調査中。

○都道府県管理河川(22水系 36河川)

10県(石川県、長野県、岐阜県、島根県、山口県、愛媛県、福岡県、佐賀県、熊本県、鹿児島県)において、22水系 36河川で氾濫に伴う浸水被害が発生(詳細確認中)。

このうち

- ・7月10日未明から的大雨により、佐賀県において、3水系4河川で氾濫に伴う浸水被害が発生(詳細確認中)。また、福岡県管理の筑後川水系広川で家屋2戸流出(避難済みのため人的被害なし)。
- ・7月8日から9日の大雨により、島根県と山口県において、5水系9河川で氾濫に伴う浸水被害が発生(概ね解消)。山口県管理の神田川水系員光川では、堤防が決壊し、農地が浸水(応急復旧完了)。
- ・7月7日以前の大雨により、8県(石川県、長野県、岐阜県、山口県、愛媛県、福岡県、熊本県、鹿児島県)において、15水系23河川で氾濫に伴う浸水被害が発生(概ね解消)。山口県管理の粟野川水系粟野川では、堤防が決壊し、農地が浸水(応急復旧完了)。
- ・その他の河川の被害については内水被害を含めて調査中。

(2)ダム(7/11 12:00時点)

○洪水調節(事前放流を含む)を実施 134ダム

134ダムのうち、事前放流の基準に達したダム 40ダム

- ・事前放流を実施 21ダム(うち、利水ダム11)
- ・すでに事前放流の容量を確保 19ダム(うち、利水ダム16)

※基準降雨量との関係やダムの運用について評価中であり、数値が変更となる場合があります。

○異常洪水時防災操作を実施1ダム(筑後川水系佐田川寺内ダム、下流河川の氾濫情報無し)

(3)砂防

○土砂災害(7/11 13:00時点)

- ・140件(神奈川県1、新潟県3、石川県7、長野県3、岐阜県3、島根県40、岡山県1、広島県3、山口県23、福岡県6、佐賀県3、長崎県4、熊本県14、大分県5、宮崎県3、鹿児島県21)

人的被害 死者3名(福岡県(添田町1、久留米市1)、佐賀県(唐津市1))

行方不明者3名(佐賀県(唐津市2)、大分県(由布市1))

負傷者7名(福岡県(添田町1、久留米市5)、鹿児島県(日置市1))

人家被害 全壊 4 戸（佐賀県 3、大分県 1）
半壊 2 戸（福岡県 1、熊本県 1）
一部損壊 18 戸（神奈川県 2、長野県 1、島根県 4、岡山県 1、
山口県 2、佐賀県 1、熊本県 2、宮崎県 2、
鹿児島県 3）

○土砂災害警戒情報（7/11 12:00 時点）

17 県 186 市町村に発表（千葉県、新潟県、富山県、石川県、長野県、岐阜県、島根県、広島県、山口県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）

※全て解除済み

(4) 道路（7/11 12:00 時点）

○高速道路

被災による通行止め：3 路線 8 区間

E9 山陰道（出雲多伎 IC～大田中央・三瓶山 IC）【2 区間】：地すべりの恐れ

E34 大分自動車道（甘木 IC～玖珠 IC）【5 区間】：土砂流入

E34 長崎自動車道（鳥栖 IC～東脊振 IC）【1 区間】：土砂流入

雨量基準超過等による通行止め：なし

○有料道路

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：なし

○直轄国道

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：なし

○補助国道

被災等による通行止め：7 路線 8 区間

国道 211 号（福岡県東峰村）：土砂流入

国道 212 号（大分県中津市）：護岸崩壊

国道 323 号（佐賀県佐賀市）：土砂崩れ

国道 385 号（福岡県那珂川市）：土砂流入

国道 442 号（大分県日田市）：法面崩落

国道 445 号（熊本県山都町）：橋梁損傷（流出）

国道 500 号（福岡県添田町）：土砂流入

国道 500 号（福岡県東峰村）：土砂流入

○都道府県道等

被災等による通行止め：13 県 119 区間

長野県 1 区間（土砂流出 1）

岐阜県 2 区間（法面崩落 1、路肩崩壊 1）

島根県 6 区間（土砂崩れ 3、路肩崩壊 1、倒木 2）

岡山県 3 区間（落石 2、土砂崩れ 1）

広島県 1 区間（土砂流入 1）

※広島県の県道の全面通行止めにより 1 箇所が孤立が発生

山口県 23 区間（土砂流出 3、倒木 1、路肩崩壊 9、土砂流入 5、路面陥没 1、落石 1、法面崩落 1、土砂崩れ 2）

※山口県の県道の全面通行止めにより 1 箇所が孤立が発生

愛媛県 4 区間（土砂崩れ 3、路肩崩壊 1）

福岡県 49 区間（路面冠水 18、土砂崩れ 1、土砂流出 2、土砂流入 17、法面崩落 1、倒木 4、路肩崩壊 2、護岸崩壊 1、路面陥没 1、舗装損傷 1、道路損壊 1）

佐賀県 10 区間（土砂崩れ 6、路面冠水 2、法面崩落 2）

長崎県 1 区間（倒木 1）

熊本県 8 区間（路肩崩壊 5、土砂崩れ 1、法面崩落 1、土砂流出 1）

大分県 10 区間（法面崩落 2、土砂流出 4、倒木 1、路面冠水 2、護岸崩壊 1）

※大分県の県道の全面通行止めにより 1 箇所が孤立が発生

宮崎県 1 区間（路肩崩壊 1）

※この他、佐賀県神埼市の市道で橋梁（歩行者用）の流失あり

(5) 鉄道（7/11 12:00 時点）

<新幹線>

【運転を見合せている路線】：なし

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

<在来線>

【被災状況】

J R 西日本

美祢線 橋梁倒壊（1 箇所）、複数個所で土砂流入等（詳細調査中）

山陰線 橋梁傾斜等（1 箇所）、複数個所で土砂流入等（詳細調査中）

山陽線 路盤流出（1 箇所）

J R 九州

久大線 20 個所で土砂流入等

【運転を見合せている路線】：3 事業者 11 路線

J R 西日本：山陰線、美祢線、山陽線、宇部線、小野田線

J R 九州：久大線、筑豊線、後藤寺線、日田彦山線、筑肥線

西日本鉄道：甘木線

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

(6) 航空（7/11 11:30 時点）

○運航に支障となる空港施設等の被害情報なし

○運航への影響

- 30日 欠航便 19 便 (JAL4 便、ANA1 便、その他 14 便)
- 1日 欠航便 22 便 (JAL18 便、その他 4 便)
- 2日 欠航便 10 便 (JAL8 便、その他 2 便)
- 3日 欠航便 20 便 (JAL14 便、その他 6 便)
- 4日 欠航便 4 便 (JAL2 便、その他 2 便)
- 5日 欠航便 2 便 (その他 2 便)
- 7日 欠航便 3 便 (ANA2 便、その他 1 便)
- 8日 欠航便 14 便 (JAL6 便、ANA8 便)
- 9日 欠航便 2 便 (JAL2 便)
- 10日 欠航便 39 便 (JAL20 便、ANA4 便、その他 15 便)
- 11日 欠航便 2 便 (ANA2 便)

(7) 自動車 (7/11 12:00 時点)

○運休状況等

- ・ 高速バス : 7 事業者 16 路線運休、一部運休なし
- ・ 路線バス : 3 事業者 6 路線運休、3 事業者 6 路線一部運休
- ・ 宅配事業者 : 大手 5 事業者において一部地域で集配遅延等

(8) 海事 (7/11 10:30 時点)

○運休状況等

- ・ 1 事業者 1 航路運休又は一部運休

(9) 港湾 (7/11 12:00 時点)

- ・ 熊本港(熊本県)の泊地に少量の漂流物(流木等)を確認し、熊本県により漂流物の回収済み。港湾利用に支障なし。
- ・ 長洲港(熊本県)の航路及び泊地に漂流物(流木等)を確認し、熊本県により漂流物の回収作業準備中。小型船の利用に支障あり。
- ・ 長洲港海岸に漂流物(流木等)を確認。詳細調査中。

(10) 下水道 (7/11 13:00 時点)

○山口県下関市 : マンホールポンプ 2 基が浸水 (応急対応済)

○熊本県益城町 : 管路 (污水) が一部破損 (応急対応済)

処理場 1 箇所が浸水 (応急対応済、水処理機能は問題なし)

○宮崎県宮崎市 : 管路 (污水) が一部破損 (応急復旧済)

○山口県美祢市 : 汚泥処理施設 1 箇所が浸水 (応急対応済、水処理機能は問題なし)

マンホールポンプ 3 基が浸水 (1 基復旧済、2 基応急対応済)

管路 (污水) が一部破損 (応急対応済)

○福岡県久留米市 : 処理場 1 箇所が浸水 (復旧済、水処理機能は問題なし)

○佐賀県唐津市 : 管路 (污水) が一部破損 (対応検討中、対象家屋一軒)

(11) 公園・都市 (7/11 12:30 時点)

○都市公園：12 施設被災

(京都府 1、山口県 3、福岡県 1、熊本県 2、大分県 4、宮崎県 1)

(12) 観光 (7/11 12:00 時点)

- ・大分県由布市の宿泊施設 1 軒で泥水流入による被害
- ・愛媛県松山市の宿泊施設 1 軒で浸水等による被害
- ・佐賀県武雄市の宿泊施設 2 軒で浸水等による被害
- ・福岡県久留米市の宿泊施設 1 軒で浸水による被害
- ・熊本県阿蘇郡小国町の宿泊施設 2 軒で浸水等による被害

(13) その他 (海岸、物流) 関係の状況

- ・被害情報なし

5 国土交通省の対応

(1) 災害対策本部会議等

○国土交通省災害対策連絡調整会議 (6/29、7/3、7/4、7/6、7/10)

(2) 記者会見等

○合同記者会見 (福岡管区气象台、九州地整 6/30 11:00、7/7 14:00、
広島地方气象台、中国地整 7/7 14:00)

○共同取材 (気象庁、水管理・国土保全局 6/30 14:00、7/7 11:00、7/10 7:40)

(3) ホットライン構築状況

北陸、中部、中国、四国、九州の 106 市町村とホットラインを構築

(新潟県 2、富山県 1、石川県 2、長野県 1、岐阜県 4、島根県 5、山口県 19、愛媛県 8、福岡県 15、佐賀県 8、熊本県 17、大分県 4、宮崎県 9、鹿児島 11)

(4) TEC-FORCE 等【本日 48 名派遣】 (のべ 427 人・日)

○リエゾン：3 県 9 市町村へ 25 名を派遣中 (福岡県庁 2、久留米市 2、うきは市 2、朝倉市 2、東峰町 2、添田町 2、広川町 2、大分県庁 3、日田市 2、中津市 2、佐賀県庁 2、唐津市 2)

○JETT：3 県 4 市へ 14 名を派遣中

(福岡県庁 2、久留米市 2、山口県庁 2、唐津市 2、大分県庁 2、由布市 2、中津市 2)

○被災状況調査班等：9 名を派遣中

- ・山口県内において、中国地整による河川、道路の被災状況調査 (7/2~7/10)
- ・熊本県内において、九州地整、国総研、土研による被災状況調査 (7/6)
- ・佐賀県内において、九州地整による被災状況調査 (7/10)
- ・福岡県、佐賀県、大分県内において、九州地整による被災状況調査 (7/11)
- ・福岡県庁、久留米市において、国土地理院による地理情報支援 (7/11)

○ヘリコプターによる被害状況調査

- ・防災ヘリ (おりづる号) 山口県を調査 7/2
- ・防災ヘリ (はるかぜ号) 福岡県、熊本県を調査 7/3

- ・防災ヘリ（はるかぜ号） 福岡県、佐賀県を調査 7/10
- ・防災ヘリ（はるかぜ号） 福岡県、佐賀県、大分県を調査 7/11

(5) 災害対策用機械等の出動（のべ 86 台・日）

- ・散水車（給水装置付）1 台（中国）を山口県美祢市に派遣。（7/1～現在）
- ・排水ポンプ車 7 台（四国）を愛媛県松山市、大須市内に派遣。（7/1～7/2）
- ・排水ポンプ車 2 台（九州）を熊本県益城町内に派遣。（7/4～7/5）
- ・排水ポンプ車 3 台（中国）を山口県宇部市、山口市、防府市内に派遣。（7/8～現在）
- ・排水ポンプ車 1 台（九州）を福岡県久留米市内に派遣。（7/9～7/10）
- ・排水ポンプ車 12 台（九州）を佐賀県多久市、福岡県飯塚市、直方市、小郡市、久留米市内に派遣。（7/10～現在）
- ・照明車 1 台、排水ポンプ車 2 台（中国）を島根県江津市、益田市内に派遣。（7/9～7/10）
- ・照明車 3 台（中国・四国）を愛媛県松山市、山口県下関市内に派遣。（7/1～7/2）
- ・照明車 1 台（中国）を山口県萩市内に派遣。（7/7～現在）
- ・照明車 1 台（九州）を福岡県うきは市内に派遣。（7/10～現在）
- ・清掃車 2 台（中国）を山口県下関市に派遣。（7/9～現在）

6 気象庁の対応

- 気象庁では気象情報等を適時に発表し、報道機関を通じて警戒を呼びかけている。
- 気象庁本庁では、6/29 に報道機関に対し気象解説を実施。また、6/30、7/7 には水管理・国土保全局と合同で報道機関に対し解説を実施。7/10 には、水管理・国土保全局と合同記者会見を実施。
- 各地の気象台は、JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣（のべ 198 人・日）やホットライン、地方整備局等との合同での大雨に関する記者会見等により警戒を要する自治体等に今後の見通しについて解説を行っている。

7 海上保安庁の対応

(1) 体制等

- 7/10 海上保安庁対策室設置
- 7/9 第七管区豪雨災害対策室設置

(2) 対応状況等

- 10 日 15:20～20:10 航空機 2 機（固定翼機）で九州北部沿岸域調査するも被害等認めず
- 11 日 巡視船艇による沿岸部の被害状況調査
- 海の安全情報発出 2 件

(3) その他

- 自治体等からの協力要請なし

8 国土技術政策総合研究所・（国研）土木研究所の対応

- 熊本県上益城郡山都町内の国道 445 号金内橋落橋現場調査に、熊本県の要請（九州地方整備局経由）を受け、道路構造物及び河川の専門職員を派遣（7/6：国総研 1 名、土研 3 名）

9 国土地理院の対応

- 浸水推定図（久留米市周辺）を作成し、関係機関に提供（7/11）

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 小林
代 表：03-5253-8111 内線35-822
直 通：03-5253-8461